

芝消防所跡地は 区民のため〔特養ホーームなど〕に活用を

港区議会 決算委員会総括質問

手話言語条例の制定を

港区議会第3回定例会が9月10日から開かれました。日本共産党港区議員団は、安倍政権の暴走にストップをかけるとともに、区民のいのちを守るため積極的提案を行い奮闘しました。決算特別委員会では、いのくま正一議員が総括質問に立ちました。



決算特別委員会

手話言語条例の制定を

【質問】 2006年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」と明記された。

障害者基本法は、「全て障害者は、可能な限り言語（手話を含む）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される。」としている。

①国に対し、手話言語法の制定を求めるべき。

②港区として手話言語条例を制定すべき。

③聴覚障害者がより多く、区の催しに参加できるようにすべき。

【答弁】 ①区としては、今後、国に対し、手話言語法の制定に向け、要望していく。

②今後も、手話の理解と普及に積極的に取り組むとともに、手話言語条例の制定について調査・研究していく。

③来年4月から、障害者差別解消法が施行される。今後も、聴覚障害者の意思疎通の手段を確保するなど、多くの聴覚障害者が参加できる催しになるよう取り組んでいく。



脳ドック健診への助成を

【質問】 脳の血管障害の一つであるくも膜下出血。原因の中で最も多いのが、脳動脈にできる瘤（こぶ）の破裂といわれる。

脳ドックなどのMRI検査で1ミリからの脳動脈瘤を発見できるといわれている。早期発見・早期治療によって、健康で長生きができるうえに、医療費の軽減にもつながる。脳ドックの費用を助成すべき。

【答弁】 脳ドックに対し区独自の助成の予定はないが、特定健診による疾病の早期発見や健康教育、保健指導を通して区民の生活習慣改善を支援していく。

人材育成について

【質問】 区民に寄り添うことが職員のあるべき姿勢と、「職員の服務に関する宣誓」に明記されている。

憲法と地方自治法、宣誓にもとづく仕事ができるような職員の増員、職員の研修を行うべき。

【答弁】 あったかマナー活動に取り組むとともに、職場内研修などを活用して、傾聴する力と職務知識の向上を図ることで、より区民の視点に立った職員の育成に取り組んでいく。

日本共産党
港区議員団ニュース

ホームページ
<http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp>

2015年11月号外
港区芝公園1-5-25
☎(3578)2945～6

港区議員団 検索

欧米は30人以下
韓国は35人以下

少人数学級を区独自に実施せよ

歩道橋撤去とスクランブル交差点について

【質問】「バリアフリー法」が制定された経過からも、エレベーターのない歩道橋は撤去すべき。撤去後の基本はスクランブル交差点にすべき。歩道橋の撤去、スクランブル交差点について、関係機関に要請すべき。

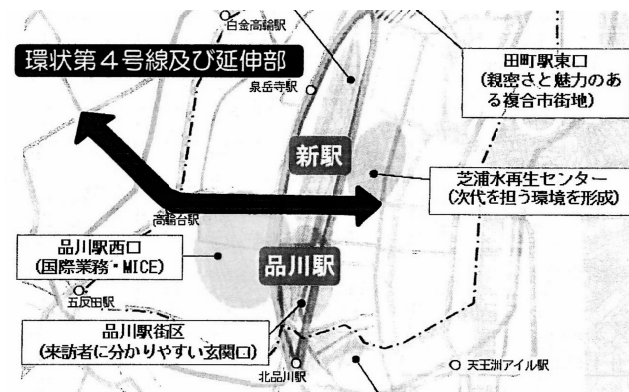
【答弁】歩道橋の撤去については、バリアフリー化が必要と認められる歩道橋の改善や、横断歩道などの代替施設の設置を検討するよう各道路管理者に要請していく。スクランブル交差点への変更については、地域から要望が寄せられた際には、現場状況などを確認し、必要に応じ交通管理者に検討を要請していく。

都道環状4号線について

【質問】環状4号線は、昭和21年3月26日に戦災復興院がアメリカ軍の空襲で被災した全国諸都市の戦災復興事業として決めたもののひとつである。今回の対象地域は、プラチナ通りから品川駅までは現道道路が全くないところ。

ろ。人の家の敷地に道路をつくらうというひどい計画。

区民の安全・安心・居住する権利を守る立場の区長として、住民不在の環状4号線計画は、地住民の合意のないまま強引に押し通すことの無いよう東京都に要請を。



【答弁】今後、環境現況調査の結果を踏まえて、都市計画の手続きに入る事が予想されるが、地域にお住まいの方々が今いるわけで、区民等の意見に配慮し、地域の特性にも合わせた適切な整備が行われるよう、区といたしても地域にお住まいの方の意見を十分に聞くよう、東京都に対し要望していく。

少人数学級の推進を

【質問】少人数学級の推進を、保護者、教育関係者をはじめ多くの国民が立場を超えて強く求めている。貧困と格差の広がりなどさまざまな要因で、手厚い対応が必要な子どもが増え、現行の1クラス40人では学級運営が大変なこととは、校長、教職員、教育委員、PTAの関係者などが一致して認めている。

①国に対して、35人学級を全学年に拡大するよう要求すること。
②港区として、独自に少人数学級を実施すること。

【答弁】①特別区教育長会をとおして要望することも含め、適切に対応していく。

②学級編制は、東京都の学級編制基準に基づき実施しており、区独自で少人数学級を編制することは考えていないが、今後も、子ども一人ひとりに応じた少人数教育を実施していく。

学校トイレの改善を

【質問】白金の丘学園小・中学校のトイレは広く、60基のうち10基がウォシュレットになっている。これまで何度か学校トイレの改善を提案してきたが、今後はこうしたトイレを基本とするべき。また既存の学校についても計画的に改修すべき。

【答弁】区は、学校からの要望をもとに、安全・安心の観点からバリアフリー化に向けた段差の解消、手すりの設置や便器の洋式化など、施設の改善を順次実施している。今後も、学校と協議しながら、計画的に改修を進めていく。改築等によるトイレの新たな整備や既存トイレの改修時における洗浄機能付きトイレの設置については、今後も検討していく。

☆ その他の質問項目 ☆

- 羽田空港への新たな飛行経路案について
- 感震ブレーカー設置助成について
- 区有施設の自動販売機について
- 生活保護の葬祭扶助の改善について
- インフルエンザワクチンの接種費用助成について
- AEDの設置について
- 「ちいバス」をみなとパーク芝浦に延伸させることについて
- 建築紛争を未然に防ぐことについて
- 児童を守るための対策について